

片桐英数塾通信

河合サテライトネットワーク校
 全統模試実施校
坂本教室 OFFICE
 TEL 24-1337
 FAX 82-6185
天神教室
 TEL 23-1899
 E-mail
 info@katagirijuku.com



「正義」って何だろう？

今、答えを出すのは難しいけど、考えるだけの価値はある。



今年を振り返ってみると、「正義」についての本が売れてたよなあ・・・と、思い出して書いたもので、そのことについて書いてみようと思います。「正義」？ 何だか、分かったようで分からない言葉です。「悪」をやっつけるのが「正義の味方」なんだから、そんなもんだらうと片づけしてしまうのが分かりやすく良いのですが・・・けど、誰がどっから見ても「悪です！」って感じの「悪」なんて、意外と見つけれられませんか。分かりやすく「悪」の着ぐるみでも着ていければ「正義」ってことになって悩まずに済むのですが。

仕方がないので調べてみました。「人の道にかなって正しいこと。正しい道義。」とのこと。分かった気になるんですけど、この調べた意味でも良さそうですが、けど、何だか釈然としません。「人の道にかなうって？ 正しい道義って？ 何？」ってことになってしまいます。「具体的にどうなんだ！」ってのが分かれれば良いのですが・・・。

それはとても寒い日でした。隣で薄着をした人が震えて

います。偶然、あなたは暖かいジャンパーを着ています。それを隣の人に貸せば、隣の人は風邪をひかずに済むでしょう。しかし、あなたはそのジャンパーの下には半袖のTシャツしか着ていません。貸すと自分が風邪をひいてしまうでしょう。さて、あなたはどちらをしますか？

たぶん、自分が風邪をひいてしまふのなら、貸さずに知らない顔でいるでしょう。けど、その隣の人は、翌日、とても大事な用事があるというところが分かっていて、自分には特に用事が無い場合、それでも貸さないのは「正義」なのだろうか？ さすがに貸してあげた方が良さそうに思いますが、自分が風邪をひくというのには割に合うのか？ ところで、割に合う合わないかで判断するのが「正義」なのか？

話を改めて、みんなが知っている「ウサギとカメ」の話は、足が遅いということ馬鹿にされたカメがウサギとの競争に応じ、大勝利を収めるというお話です。言われのないことで馬鹿にされたカメが正々堂々と勝負を挑み勝利をおさ

めるといふ筋は「正義」だと思えます。さて、

では、カメは途中で寝ているウサギを追い越すのですが、その時、もし寝ているウサギに気付いていたら、起こさずにレースを続けたカメに「正義」はあったのか？ また、このお話に出てくるウサギは、レースの途中で寝てしまふような加減なウサギだったので、たまたまカメは勝利できたのですが、普通のウサギが相手ならカメが勝てるはずもなく、たとえ「正義」のためとは言え、勝てるはずのないレースに挑むのは正しいことなのだろうか？

せめて、ウサギの得意な陸上ではなく、カメの得意な水中で勝負しようと思っただけのことではないのか？

またまた話を改めて、「ツルの恩返し」。助けてもらったお礼に、貧しく子供のいなかった老夫婦の前に娘の姿になって現れ、織物を織り、老夫婦へ恩返しをするというお話です。助けてもらった恩を返すという「正義」の物語だと思えます。しかし、たとえ、前もって見てはいけないうちで言っていたとしても、ついつい見ってしまったからと言って、老夫婦の前からいなく

なってしまうというの、あまりに老夫婦が不憫でならず、さて、それは正しいのか？と考えると、それは正しくありません。それなら初めから現れなかった方が老夫婦にとっては幸せだったのではないかと。どうやって考えれば考える程、「正義」というものは「どっちつかず」のような、何とも曖昧な感じの、ぼんやりとした感じになってきます。そんなややこしいものなら「正義」なんて考えなければ良いんじゃないか？

とも思ってしまったくなるかもしれないが、そんなわけにもいきません。自分がやっていることが「正義」だと思っただけで、社会においても暗黙の了解的な「正義」があるってこそ、秩序が維持されているのだから、やはり「正義」は大事です。

とても深いところにあり、生きていく上で重要な意味をもつ「正義」について、あらためて問いかけるような本が出版され、そして売れたということ。これは、何かの暗示なのかと思ってしまう。普段、これまで、特に気にしていなかったけど、「これって正しいの？」って思うようなことが増えてきているから、このような本が売れたのだろうか？と、勝手に分

析したりしており、もしかすると、今、想像を絶するほどの大きな「時代のうねり」の中にあるのかも知れません。「これまで」から「これから」に切り替わるほど、大きな変化が始まっているのかも知れません。だとすると、「これまで」当たり前だと考えていた価値観も、「これから」の価値観へと変化してしまふものじゃないか？

いろんな価値観の変化の要因に、「グローバル化」があるように思えてなりません。「国際化」と同義のような言葉ですが、実は随分と違います。「国際化」なら、例えば「私は日本人。あなたはアメリカ人。国は違っても仲良くしましょうね。」という感じなのですが、「グローバル化」というものは、境界線を極力取っ払って、均一の価値観を当てはめようという、ちょっととした強い力を放つ言葉だと考えております。どんな影響があるのか？ですが、みんなの近未来に影響がありそうなことと書くと、大手日本企業の中にも外国人採用枠を増やし、社内公用語を英語にするなど、実際に「グローバル化」に動き出している企業があります。それは、均一の言語である英語が話せなければ通用できなくなってしまうかもしれないことを意味していると思えます。

残念ながら変化は楽な方向へは向かっていないようです。そんな中、そんな変化に飲まれずに進んで行くためには、やはり、行動の根っここのところにある「正義」について考えておかなければならないのだと思えます。

なかなか答えなど見つかるものではないのですが、「自分にとつて、みんなにとつて何が「正義」なのか？」を考え続けることが、たぶん、正しい「正義」との向き合い方なのだと思います。

先ほど書きました「ウサギとカメ」のお話には続きがあるようです。ウイキペディアに書いてました。やはり、カメとの勝負に負けたウサギは、仲間のウサギからは嫌われたようです。しかし、その後、知恵を絞ってウサギ達を狙うオオカミから仲間を守り、名譽を挽回したそうです。

「正義」なのか？」を考え続けることが、たぶん、正しい「正義」との向き合い方なのだと思います。

その後のウサギには、とても大きい「正義」があったということですが、

最後に質問です。今はまだ答えられないかもしれないけど考えてみて下さい。

「あなたが幸せであるために、みんなが幸せであるために、あなたが目指すべき「正義」とは何ですか？」

お車での送迎について
 お迎え時の車の混雑について、保護者の皆様にご理解とご協力をお願い致します。お迎えの際には、駐車場内での安全走行、エンジン停止にご協力いただくとともに、ご近所出入口などでの路上待機、他の駐車場の無断使用などはご遠慮いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

まだ間に合う！センター対策

各教科万全におきたいけれど、この時期何をやっていいかと迷っている人、この短期間でどうにか得点アップにつなげたいという人、要点をおさえた河合サテライト講座で自信をつけよう。とくに文系生は理科、理系生は地歴公民を後回ししがち。今から受講しても間に合うおすすめセンター対策講座をご紹介します。冬休み中の速習も可能です。

- 【理科】 ◎センター試験対策物理Ⅰ<実戦編>
◎センター試験対策生物Ⅰ<実戦編>
◎センター試験対策化学Ⅰ<実戦編> ◎センター試験対策地学Ⅰ
- 【地歴】 ◎センター試験対策日本史B ◎センター試験対策世界史B
◎センター試験対策地理B<系統地理編> ◎地理B<地誌編>
- 【公民】 ◎センター試験対策政経 ◎現代社会 ◎倫理
- 【国語】 ◎センター試験対策国語(現代文+古文+漢文)
- 【英語】 ◎センター試験対策英語<リスニング対策編>
- 【数学】 ◎センター試験対策数学<実戦編>

坂本教室からのお知らせ

※ 坂本教室の12月、1月の休日は、
5日(日) 12日(日) 19日(日) 26日(日)
31日(金) 1月1日(土) 2日(日)です。

メールでの連絡はこちらまで！
info@katagirijuku.com
 携帯アドレス↓
katagirijuku@docomo.ne.jp



「正義」なのか？」を考え続けることが、たぶん、正しい「正義」との向き合い方なのだと思います。

その後のウサギには、とても大きい「正義」があったということですが、

最後に質問です。今はまだ答えられないかもしれないけど考えてみて下さい。

「あなたが幸せであるために、みんなが幸せであるために、あなたが目指すべき「正義」とは何ですか？」